

## 12月 ふれあいネットワーク事業

## ふれあいバスツアー実施報告！



毎回大好評のバスツアー！12月17日（土）に、鶴ヶ城と大内宿という会津の観光名所を巡るツアーに行ってきました。

当日の会津は雪が降る中の行程で、少し寒かったです。歴史的建造物であり会津若松市のシンボルでもある鶴ヶ城をガイドさんに案内してもらい城内外を見学しました。鶴ヶ城会館で昼食を食べた後は、下郷町にある、江戸時代の宿場町の姿を今に残す「大内宿」を散策しました。国内でも、30軒以上の茅葺き屋根の民家が並ぶ様子は珍しく、昔ながらの日本の建物を間近に見ることができ、皆さん感激していました。



▲大内宿では、みんな雪に大興奮！

バスの車内では、参加者全員で国名ビンゴゲームをしたり、参加者各国の歌を歌い盛り上がり交流を深めました。

日本ならではの冬の景色を堪能できた思い出に残る旅になりました。



▲わっぱ飯を美味しく食べました。



▲車内では皆の国の歌を聴けました。

# 平成28年度福島市中学生海外派遣事業 帰国報告会 開催しました！

10月3日(月)～9日(日)【6泊7日】の日程で実施された福島市中学生海外派遣事業の帰国報告会を、11月20日(日)にアクティブシニアセンターA・O・Zで開催しました。

報告会では、5班に分かれ、事前研修で班それぞれが設定した研究テーマに基づき、現地で調査してきたことや感想など、パソコンを駆使しながら内容の濃い発表を行いました。

団員は、報告会までの短い期間の中で分担して原稿を書き上げ、パソコンでデータを作成し、協力しながら準備を進めました。当日の報告会では学校関係者や保護者の方々も感嘆する素晴らしい発表となりました。福島市教育委員会教育長



▲各班による研究テーマの発表

の講評も、具体的な文化の違い、今後の日本の生活に生かせるようなものについてわかりやすくまとめとめてあり、例年に比べて非常にレベルの高い研究内容であったとの評価をいただきました。

この派遣事業実施にあたり、ご支援ご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

## 平成28年度 福島市中学生海外派遣事業 帰国報告会



▲皆さん、報告会の準備から発表までお疲れ様でした！

## NPO法人 ルワンダの教育を考える会 教育を考える トークセッション を取材しました！



▲ルワンダの歴史や現在の状況をお聞きしました。

12月3日(土)に福島市民活動サポートセンターで、NPO法人ルワンダの教育を考える会主催の「教育を考える トークセッション」が開催されました。ルワンダのウムチョムイーザ学園校長のフランソワーズさん、キミロンコ地区教育委員会のオリビエさんなど教職員の方々がルワンダからお越しになり、ルワンダの内戦やそこからの復興の話、学校創設時の話から昨今の教育現場の状況などを話してくださいました。また、スクールソーシャルワーカーの高橋美代子さんと福島市立渡利小学校教諭の渡辺真莉子さんが、東日本大震災当時の教育現場の状況をお話ししてくださいました。最後に、ルワンダのダンスや歌の披露をしてもらい、日本の「ビリーブ」と「ふるさと」を皆で歌いました。

このトークセッションで、ルワンダの方から直接話を聞いて交流することができ、さらに福島市とルワンダの絆が深まったのではないかと感じました。



▲元気いっぱいルワンダダンスを披露する皆さん。



▲お母さんのルイズさんとともに、会を支えるルーシーさん。今回は、ルワンダから4名の学校関係者を日本に招きました。トークセッション後は、コーディネーターとして2日間に渡り、清明小学校での研修をサポートしました。



The person from abroad vol. 4 福島大学国際交流センター 副センター長 マクマイケル・ウィリアムさん

「ダブル」の私が  
できること!



カナダ、バンクーバー出身のマクマイケル・ウィリアムです。福島に移住してから早10年が経ちます。最近では周囲から「なんちゃってカナダ人」と言われてしまうほど自他共に認める筋金入りの福島ファンとして、福島市を中心に活動をしています。現在は福島大学に勤めながら、海外への福島の情報発信と、世界との連携、そして次世代を担う「ふくしまにしかできない」グローバル人材育成という3つの形で、世界と福島を繋げる架け橋作りを目指しています。

日本人の母とカナダ人の父を持つ「ダブル」としてカナダで生まれ育った私は、幼少の頃は日本語があまりできませんでした。そんな私に、日本語を楽しみながら学んでもらおうと母は漫画や本をよく買い与えてくれ、その中の1冊、「新渡戸稲造」の子供向け伝記が、私の人生を大きく変えました。伝記に書かれていた「新渡戸稲造は太平洋の架け橋となった」という一節に、私は子供心に大きな衝撃を受け、そしてその時点から今に至るまでずっと私の夢であり続けているからです。

「太平洋の架け橋になる」という壮大な目標の実現に向け、大きなきっかけを頂けたのは2007年に地域の国際化を推進する「国際交流員」として福島県に採用されたことでした。当時、外国出身者に対して保守的な印象が残っていた福島県で、「移民の街」バンクーバーで生まれ育った者として、私は多様性を受け入れることの素晴らしさや留意点などを講座形式で県内各地を回りながら、色々な方々にお話をさせていただきました。政治的なハード面だけではなく、文化的なソフト面からも日本を世界に繋げることに尽力した新渡戸氏の様に、草の根レベルで文化を繋げさせていただけたこの仕事は、夢の実現への大きな一歩となりました。その後、継続的に若い世代の教育に関わりたいという新たな思いを抱き始め、今度は教育者として2010年から福島大学で、世界と日本を繋げる人材育成に取り組んでいます。特に震災後は、「ふくしまでしかできないグローバル人材」をテーマに、震災後の福島と世界と繋げる人材育成を目指しています。

よく周囲に福島でグローバルを推進し続ける意義はなんですか?といった質問を受けます。その時、私は多文化共生のメリットを「カツカレー」にたとえて説明します。カツカレーは、フランスのカツレツから生まれたトンカツが、インドのカレー文化と出会い、日本のお米と合わさることで初めて生まれました。この様に、異なる文化同士が共存すると新しい文化とイノベーションを生むという考え方が、福島でグローバル化に向けた活動を続けるメリットであり、震災後の地方創生にとって重要な発想ではないかと私は思います。福島では今、様々な文化的背景を持った方々が、福島を盛り上げようと、ご尽力されています。今後も、1つでも多くの「カツカレー」が生まれる様、その過程を現在の活動を通して少しでも支援させて頂くことで、子供の頃からの夢である「太平洋の架け橋」にまた一歩ずつ近づけることを、心から信じています。



▲留学生を交えた短期プログラムで

Fukushima's  
Beautiful  
Pride!



My Fukushima 英語指導助手(ALT)  
City Life Vol.4 Robert Vidal



私の名前はロバート・ジェームス・ヴィダルで、生徒たちは私のことをロビンと呼びます。私はアメリカのテキサス出身です。メキシコ系アメリカ人の家庭で育ちました。趣味は料理と旅行と新しい人たちと出会うことです。私は教育とジェットプログラムによるALTとしての仕事に対して情熱を持っています。子どもとの仕事が好きだし、生徒たちのことをとても愛し、そしていつも彼らに対してベストを尽くしています。私は自分自身で異文化を経験するために日本に来て、さらに教育について学びました。

私は約4年半福島に住んでおり、毎日を大切にしています。福島に住んでいる間に、私はかつての人生よりも多くの喜びを経験しました。福島はとても美しく、そして人々は文化に対して強い誇りを持っています。彼らの誇りはまわりに伝わるもので、私は自身の文化についても感謝せずにはいられません。この文化的な誇りは、彼らの祭り全てに感じられます。個人的にいくつかの祭りに参加していますが、お気に入りには飯坂けんか祭りです。祭りに注がれる喜び、エネルギー、そして愛は、私がより良くなるように活力を与えてくれます。福島の誇りは賞賛に値します。

福島県は世界から見ても、見つけることが難しい貴重な美しさを持っています。私の大好きな場所の1つは、季節ごとに訪れている鶴ヶ城です。城は春の花、夏の太陽、落ち葉の秋、冬の雪の景色とマッチし本当に素晴らしいです。私はいつも鶴ヶ城を訪れるのを楽しみにしています。他のお気に入りの場所は、花見山、あづま運動公園、信夫山です。どれだけ離れていようと、これらの場所は素晴らしく、もし私が疲れたり悲しくなったりすると、私はこれらの場所に行きます。すると、それらの場所のエネルギーがすぐに私を元気にしてくれます。信夫山の頂上は冬の雪に彩られ、本当に美しい。羽黒神社は本当にお勧めの場所です。

福島の最も良いところは人々です。みんなとてもフレンドリーで親切です。私はたくさん時間を、英語クラブに参加すること、文化交流、そして福島大学を手伝うことで過ごしました。そのときは、私はかつてないほど歓迎されて本当に驚きました。福島に住んでいると、本当に素晴らしいことばかりです。私は福島で出会った妻と、ここで生まれた娘と、もう少しここに住み続けたいと思います。



▲信夫山頂上にある羽黒神社

1月 ふれあいネットワーク事業  
日本食  
お料理教室



※画像はイメージです。

普段なかなか料理をする機会がない皆さん。日本食を一緒に作ってみませんか？今回のメニューは「簡単混ぜ込みごはん」と「とうふのお好み焼」と「てりやきチキン」と「けんちん汁」。みんなと交流を深めながら、日本料理にチャレンジしてみましょう！

日にち：1月22日（日）10:00～13:30

場所：福島市中央学習センター 実習室

内容：簡単混ぜ込みごはん、とうふのお好み焼  
てりやきチキン、けんちん汁の調理

講師：久家雅子先生

対象：どなたでも

定員：25名

参加費：会員・留学生・学生／ 500円  
一般 / 1,000円

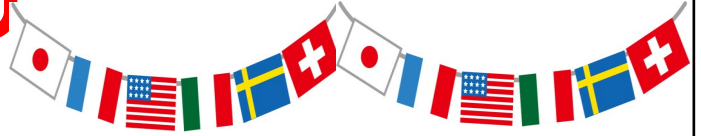
申込み：平成29年1月18日（水）までに、電話・FAX・メールで福島市国際交流協会までお申し込みください。お申し込みの際には、氏名・住所・電話番号をお知らせください。

電話 024（525）3739

FAX 024（533）5263

メール teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp

2月ふれあいネットワーク事業  
国際理解講座  
地球体験キャラバン  
～みんなで世界を感じてみよう～



JICAボランティアとして国際協力の経験がある皆さんが、ご自身の体験した「異文化」や「世界」について楽しく伝えてくださいます。ゲームなどを通して、楽しく国際理解を深めましょう。

日にち：2月12日（日）10:00～12:00

場所：福島テルサ 3階 あぶくま

内容：・ゲーム等を通じた異文化疑似体験  
・グループ活動を通じた国際理解

講師：JICAボランティアOB・OGの皆さん

対象：中学生

定員：40名

参加費：無料

申込み：平成29年2月8日（水）までに、電話・FAX・メールで福島市国際交流協会までお申し込みください。

電話 024（525）3739

FAX 024（533）5263

メール teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp

お申し込みの際には、氏名・住所・電話番号をお知らせください。



かつて協力隊に▲  
参加された方々▶  
から貴重なお話を  
伺うことができます！



参加者  
募集中！  
気軽に  
参加して  
ね！